

事業計画書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 宝塚シニアお元気活動サポート協会

1 事業種別	行政提案型・自由提案型
※行政提案型 事業テーマ	(事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入)
2 事業名	お出かけに役立つシニア向けスマホ講座
3 事業を行おうとした動機・必要性	<p>2020年の緊急事態宣言より、一時期地域のイベントを減少せざるを得なくなり、それに伴い地域住民の交流、外出の機会が減少し、シニア世代の健康被害やコミュニケーションの減少による認知症の方の増加を懸念されています。そちらを改善するために、大きく2つの取り組みが必要だと感じています。</p> <p>① 外出しやすい地域のイベントを開催し、継続する。</p> <p>② イベントや地域の情報を取得するため、シニア世代のデジタルリテラシーの向上</p> <p>今回のイベントをきっかけに、宝塚在住の65歳以上の方の外出の促進と、地域とコミュニケーションを増やすためにデジタルリテラシーの向上を図る。</p>

4 事業を行う目的と期待される効果

※審査基準のうち「効果の広域性」「独創性」「継続性」が判断できる内容を含めて記載してください。

宝塚でも実施経験があり、他の地域で65歳以上の方に対して人気な「シニア向けスマホ講座」の講師を呼び実践したいと思います。スマートフォンの講座は、1回で全部がわからないので、繰り返し受けられる方が多く、継続性が高さが見込めます。参加者に他にも勉強したい、相談したい事柄のアンケートをとり、シニア世代が求めているイベントを確認し、実施できるよう取り組むことができると考えます。

以前、補助をいただいた際に、実際に外出して実践する使い方もできると、より効果が期待できるお声をいただいたので、

今回は地図の使い方、Google レンズなどを覚えてスマホ講座だけでなく、

実際に外に出て活用するお出かけイベントも行いたいと思います。

他の地域団体ともコラボしながら、地域のつながりが広がることにつなげたいと考えます。

希望者には、地域のイベント情報をLINEで受け取れよう、本講座意外への参加を促すことで、外出やコミュニケーションの機会の増加を期待できます。

5 申請までの検討経過

2026年2月 総会を行い、令和7年度の振り返りを行う。

2026年3月 総会を行い、令和8年度の取り組みについて話し合う

2026年4月 活動に向けた講師の費用などの予算の確認を行い、捻出方法を考える。
市役所のきずなづくり推進事業補助金の申請をする。

6 事業の内容

※実施時期、場所、回数、参加予定人員等を含めて具体的に記載してください。

スマホ講座

<第1回> 10月の平日 10:00~11:30 参加20人まで

場所：宝塚中央公民館201号室

内容：LINEの基本操作と、未使用者には初期設定を行う。

- ・LINEってなに？
 - ・QRコードで友だちになる
 - ・メッセージ、写真を送る。電話の掛け方
- 友人、家族とやり取りをする練習ときっかけを作る。

<第2回> 10月の平日 10:00~11:30 参加20人まで

場所：宝塚中央公民館201号室

内容：アプリの取り方 Google Map、Google レンズ の 使い方

- ・アプリのインストール方法
- ・GoogleMap、Google レンズの使い方

<第3回> 11月の平日 10:00~11:30 参加20人まで

場所：宝塚中央公民館201号室

内容：スマホ決済、PayPay の使い方を知ろう

- ・スマホ決済って？使う前の注意点や使い方
- ・(希望者のみ) 最寄りのコンビニで、PayPayにお金をチャージしてみよう

<第4回> 11月の平日 10:00~11:30 参加20人まで

場所：宝塚中央公民館201号室 集合予定(外出先は参加者希望があれば優先したい)

内容：今までの内容を実践するため、目的地をマップで調べたり、お花の名前、英語の翻訳などを体験する

- ・お出かけの実践
- ・使ってみた感想 その他質疑応答

7 市の担当課との事前協議の経過 (事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入)

8 実施する安全対策

会場へのご案内を段差や手すりが使いやすい順路のご案内できるよう、会場までのご案内スタッフを配置する。外出の場所を選定する際に、歩行が困難でない場所を考える。